

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	39	地域との繋がりは深めつつあるが、火災や防災の避難訓練等の繋がりが、協力体制が構築されていない	地域の住民の方、地域の事業所と協力して訓練を行い、実際の災害の時にお互いに助け合える繋がりを継続して持てる	火災・防災訓練の時に地域の方にも、訓練に参加して頂く。同一法人内の事業所と連携を深め、共に訓練を行い、合同会議を開く。	12ヶ月
2	52	役割、楽しみごとの支援では、役割や生きがいを持って頂けている方と、なかなか活躍の機会がない方がいる。生活に参加する生活支援のケアをグループホームとして、もう少し充実させ「共同」の生活になる工夫が必要。	入居者が自分のできること、したいことをご本人と共に見つけ、役割や生きがいを持って、生き生きと生活できる時間が増える。	上げ膳、据え膳のケアに陥っていないか、常に振り返り、入居者様が主人公となって、生活に参加出来るように、チームで情報共有し、ケアプランにも反映し、実践していく	12ヶ月
3	35	実際も緊急時に落ち着いて迅速な対応、連絡ができるか不安がある。定期的に緊急時の対応の訓練・学習がしっかりできていない。	緊急時の対応を職員全員が周知し、学習・訓練を行い、実際の緊急時に適切な対応ができるようになる。	ロールプレイ訓練などを行っていく。緊急時マニュアル・行方不明の連絡網や警察への連絡などのマニュアルも定期的に見直し、周知徹底していく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。